## １．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

| 依頼№ | 11 | 事例№ | 10 | 依頼者 | 東郷町立諸輪小学校 | 実施場所 | 東郷町立諸輪小学校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施対象 | 小学 4 年生 2 クラス　67 名 | | | | | | |
| 実施日時 | 令和 7 年 11 月 19 日（水）9 時 40 分～11 時 30 分（2 時限分） | | | | | | |
| テーマ | 環境問題について多角的に知り、自分たちに何ができるかを考える | | | | | | |

**●依頼内容**

環境問題について多角的に知り、自分たちに何ができるかを考える環境学習の講師を紹介してほしい。

**●講師：村瀬政彦 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員、あいち eco ティーチャー）**

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」、「あいち eco ティーチャー」にも登録されている。

**●授業の内容**

| | | |
|---|---|---|
| 講義 | 講義は、海岸への漂着ごみをはじめとするプラスチックごみ問題をテーマに行われた。愛知県の海岸に流れ着いたごみを見ながら、漂着ごみの多くは私たちが毎日の生活の中で使っているプラスチック製品であること、また、これらは魚やカメがエサと間違えて食べてしまったり、マイクロプラスチックとなって環境汚染の原因になったりしていることを学んだ。その上で、ごみを減らし環境を守っていくために、物を大切にし、リデュース、リユース、リサイクルに心がけるとともに、ごみのポイ捨てをやめ、ごみ拾いや清掃活動等に取り組むことの大切さを学んだ。 | 55 分 |
| 休　　憩 | | 20 分 |
| カードゲーム | 子どもたちは４～５人のグループにわかれて海辺の生きものや海産物、海のごみなどが描かれたカードを使って絵合わせゲームを行った。ゲームを通して、海の恵みの大切さや海のごみがどこから流れてきたのかについて学び、問題解決のために自分たちにできることを考えた。 | 35 分 |

**●授業の様子**

講義は、パワーポイントや動画、愛知県の海岸に実際に流れ着いたごみの見本を使って行われた。子どもたちは、海岸に流れ着いたごみの多さやその種類に驚くとともに、これまでの自らのごみの捨て方をふりかえり反省する様子もみられた。カードゲームの時間になると、友だち同士で夢中になって取り組み、カードに書かれたメモを読み上げて、ごみを減らすために自分たちにできることを確認していた。

ごみ問題の原因とごみを減らすための方法を学んだ。



カードゲームを通してごみの種類や原因を学んだ。

